

# 北広島 商工会 だより

平成26年5月1日号  
第80号

会員の状況  
(部会の重複加入あり)

会員	734名 (+17、-21)
商業	440名 (+8、-19)
工業	356名 (+10、-2)
青年	41名 (+2、-6)
女性	59名 (+3、-0)

発行 北広島商工会事務局  
責任者 事務局長 高田 信夫  
〒061-1121

北広島市中央5-7-2  
TEL 011-373-3333  
FAX 011-373-3212

shokokai@kitahironavi.or.jp  
http://www.kitahironavi.or.jp

★商工会だよりへの御社PR掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。(会員相互PR事業)

■全国中学生空手道選抜大会開催  
〈全国の頂点を争い中学生が熱戦  
出店スペースも賑わう〉

3月28日から30日の3日間、総合体育館で「はまなす杯第8回全国中学生空手道選抜大会」が開催され、当会の歓迎実行委員会は出店ブースを担当したほか、大会期間中に役員・選手の皆さんへの弁当販売等も行いました。

全国から集まる選手やその家族など約3千人の来場者をおもてなしするため、体育館横にテントを設置。物販店や飲食店14件が出店しました。大会期間中は天候が悪い日もありましたが、カニ汁やラーメン等の飲食物、道産土産や大会オリジナルTシャツなどを買い求める人たちが賑わいました。

また、歓迎実行委員会でも北広島市のキャラクター「きたひろ」まいピーグッツや北海道の食材を使った弁当を販売。全国のお客様に北広島市や北海道をアピールしました。

会場では「きたひろ



★まいピーも積極的に活動し、北広島市のPRに努めました。開会式では選手入場の際に選手の横に立ち会場を盛り上げたほか、市長からの挨拶で誕生の経緯や名前の由来等を紹介していただきました。会場内を練り歩いた際には、記念撮影を求めている方がまいピーのもとへ集まり、多くの人と交流を図りました。



## 商業部会 (部会長 鈴木陽一)

### 商業部会総会

〈原案どおり可決される〉

平成26年度総会を4月17日、北広島市経済部の小島部長ほか4名の来賓と50名の部会員の方に出席いただき、ウエディングプラザ入舟で開催しました。

事業報告では、まちづくり活性化委員会が検討を進めているコンパクトシティ関連で、道都大学の協力により作成した「東部・団地地区市街地模型」や千葉県佐倉市・東京都三鷹市への先進事例研修について竹村委員長から報告。親睦事業では、恒例となっている日本ハムフアイトーズの野球観戦と初めて工業部会と合同で実施した「余市・積丹日帰り旅行」で、定員を超える申込みがあり好評だったことなど、山田委員長か



ら報告しました。本年度、まちづくり活性化委員会は「定住人口・交流人口増加策」と「新庁舎建設計画

をふまえ「市役所周辺整備に関すること」について検討することになりました。親睦委員会では部会員の方が多数参加していただけた企画をするため予算も増額されました。提出された議案はすべて原案どおり可決されましたので、本年度も皆さまのご参加、ご協力をよろしくお願ひします。

### 北広島を考える

〈街づくり講習会開催〉

3月26日に街づくりに関する説明会および意見交換会を北広島市企画財政部の高橋部長ほか3名の市役所職員を迎え開催。当日は29名の会員が参加し、北広島市の財政や人口状況等について説明を受けました。

市の人口は、平成19年をピークに減少。なかでも団地地区の人口減少率が大きく、高齢化率も道内全市

の平均25・3%を大きく上回る37・5%となっており、早急な対応が必要なことなどが説明されました。その対策として、若い世代を呼び込むために平成26年度から「ファーストマイホーム」事業を実施するとのことでした。この事業は50歳以下の方で18歳以下の子どものいる方を対象とし



て、市内で住宅を購入する場合に現金50万円が支給される制度で、すでに多くの問い合わせがあるとのことでした。

その後の質疑では、平成29年度に完成予定の新庁舎建設についてや道都大学との連携等に関する質問があり、活発な意見交換が行われました。

## 新会員紹介

### 商業部会

#### 合同会社プラーナ

小川 拓 様

山手町7-3-14

#### トライポッドトレーディング

番場 久 様

虹ヶ丘5-4-12

#### しらかば鍼灸接骨院

西村 克之 様

白樺町1-8-6

#### 廣島神社

勝沼 俊 様

中央4-3-1

○オカモトサイクル 岡本 大輔 様

○ドッグサロンピース 高橋 浩之 様

○工業部会 大曲緑ヶ丘7-14-2

○恵進建設(株)北広島本店 松本 大輔 様

○(有)卯野食品 卯野 純也 様

○吉田 誠司 様(サイディング業) 高台町6-3-4

○(株)四宮造園北広島営業所 四宮 繁 様

○(株)北大工業 石川 清朗 様

○北盛電設(株)北広島営業所 森崎 享一 様

○(株)三建管工技研北広島支店 齊藤 齊 様

○北広島自工(株) 田中 勝義 様

○全日計(株) 高田 誠一 様

○田中商店 吉田 真美 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様

○(両部会) 行政書士山本博己事務所 山本 博己 様



総会報告

～原案どおり可決承認～



4月14日に平成26年度総会を小島経済部長ほか8名の来賓にもご臨席いただき、部会員53名の出席で、良寿しにて開催しました。

平成25年度事業報告では、研

修委員会担当で実施したせたな町にある洋上風力発電所などの企業視察研修や、マレーシアにあるパティック工場への視察研修について報告。経済セミナー委員会担当では札幌交響楽団コンサートマスター・大平まゆみ氏を招いての第28回経済セミナーについて、会員以外の方も多く出席いただいたことなどを報告しました。

平成26年度事業計画案についても原案どおり可決されましたので、研修会、経済セミナー、親睦事業などをより一層充実させていきたいと考えております。皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

■地域に根ざす球団として

～企業理念・経営理念を学ぶ～

3月7日に「スポーツコミュニケーション」と題して、(株)北海道日本ハムファイターズ統括事業本部から東朝幸氏をお招きした講習会は20名が出席しました。

日本ハムファイターズは平成16年、既成概念にとらわれないことを

理念とし、地域でオンリーワンになれる場所・真のフランチャイズを目指せる場所として、東京から本拠地を北海道へ移転しました。約10年が経過し、近年は試合来場者数が減少傾向にあることから、新しい取り組みとして婚活シートの設置や球場内でのキャンペーンなどを実施。また道内で同様にプロスポーツとして活動している「レバンガ北海道」「コンサドーレ札幌」および札幌市と連携協定し、スポーツを通じたまちづくりにも取り組んでいるとのことでした。

分野が別であっても、相互に発展できることで連携することや、「今までにない」新しいアイデアを取り入れた事業を行う時の一歩踏み出す勇気は、企業としても学ぶべきものがあり大変参考になりました。



参考になりました。

■アジアの成長を実感

～マレーシアのバティック工場など視察～

工業部会では、長期的な経営の参考となる知識などを習得するため、例年視察研修を実施しています。今回は3月19日から24日まで11名が参加しマレーシアで研修を行いました。

視察先のマレーシアは、住宅・医療環境が高水準にあり、物価が安いことから世界で住んでみたい国の一つとされ、経済発展も著しく進出企業も多くなっています。



今回の視察では、特産品となっているバティックと呼ばれる「ろうけつ染め」布地を生産している工場を視察。

バティックは18世紀頃から作られるようになった工芸品で、色鮮やかな絵柄は高度な技術を持った従業員のオリジナルで作成されているとのことでした。高度な経済発展を遂げている傍らで、伝統的な技術が生かされた産業も活発なことは非常に感銘をうけました。

また、同地は移住先としても注目されており、4年前に北広島市内から移り住んだ方の住宅を訪問させていただきました。場所は海外からの長期滞在者が多く居住する高層マンションで、住宅設備や生活に必要な周辺環境は先進国と変わらず、水道光熱費も安価とのこと。

今後も経済交流がますます活発になり、企業の海外進出増加が予想されるなか、住環境を含め視察できたことはとても有意義でした。



青年部 (部長 東 隆史)

■総会報告

4月11日、平成26年度通常総会を良寿しで24名(賛助部員7名含む)の出席により開催しました。

来賓には北広島市経済部の藤木次長、宮本主査、上原商工会長、

澤田女性部長、青年部OB会の門間副会長をお招きし、平成25年度事業報告並びに収支決算報告、平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について審議し、原案どおり可決されました。



役員の欠員による補充では、理事・木村健司氏、監事・鬼頭正英氏が選任されました。

また、本総会をもって、40歳の定年により卒部となる6名の部員に東部長から記念品が贈呈されました。

■青年団体スポーツ交流事業



青年団体スポーツ交流事業は、北広島市内の青年団体(青年会議所、農協青年部、商工会青年部)がスポーツを通じて交流を図る目的で毎年実施しており、平成25年度は3月20日に開催。当青年部からは11名が参加しました。

第8回目となる今回は農協青年部がスポーツ部門の幹事となり、総合体育館でミニバレーを実施。各団体の混合全4チームで総当たり戦を行い心地よい汗を流し交流を深めました。

終了後は、焼肉火族あい屋に会場を移し、青年会議所が幹事となつて懇親会と表彰式を実施。今後も各団体の交流・協力を確認し、当青年部としてはチャリティービアガーデンへの協力もお願いしました。

女性部 (部長 澤田 美恵子)

■通常総会

～原案どおり可決承認～

4月18日、ウエディングプラザ入舟にて平成26年度通常総会を本会21名、委任状24名、合計45名の出席で開催しました。



冒頭、澤田部長からの挨拶では「女性部のロゴマークは商工会のSを中心に6つのハートがつながりあつて一つの花になつている形で、優しさや情熱的な全国6ブロックの商工会女性部が手を取りあつて大きな花を咲かせ、一致団結して活動する姿を表している。当会女性部も同様に協力し合い事業を実施していることに感謝する」と今後の更なる協力を求めました。議長には池下順子氏が選出され、議案第1号の平成25年度事業報告並びに収支決算報告を事務局より説明。質疑では第20回花のまちコンクール表彰について質問があり、澤田部長より長



報告並びに収支決算報告を事務局より説明。質疑では第20回花のまちコンクール表彰について質問があり、澤田部長より長



年コスモス畑の管理等を行ってきた功績に対するものであり、当初から携わっている部員の方々に改めて感謝の意が述べられました。議案第1号、議案第2号の平成26年度事業計画(案)並びに収支予算(案)ともに原案どおり可決されました。

引き続き懇親会が行われ、上原商工会長、吉田商業労働課長、山田商業労働課主査にご来賓として参加いただき、親睦を深めることができました。

■「おもてなしの心」  
 空手道大会会場へ  
 温かくお出迎え

今年で8回目となる全国中学生空手道選抜大会が、総合体育館で3月28日から30日まで開催され、29日・30日の2日間、飲食で出店しました。

全国各地から当市を訪れている選手や大会関係者たちを歓迎するため、焼きそばと温かいうどんを販売



掛けるなど大会運営の裏方として頑張りました。

今回は昨年より多い約630食を販売できました。来年も「おもてなしの心」で、お迎えしたいと考えています。



●小規模事業者持続化補助金のお知らせ●

持続化補助金とは、持続的な経営に向けた経営計画に基づく、小規模事業者の地道な販路開拓(創意工夫による売り方やデザイン改変等)などの取り組みを支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。



・対象者  
 製造業その他の業種に属する事業として営む事業者であり、常時使用する従業員数が20人以下(卸売業、小売業、サービス業(宿泊業・娯楽業は除く)に属する事業を主たる事業として営む者については5人以下)

・対象経費  
 機械装置などの購入費、広報費、展示会などの出店費、旅費、委託費等。  
 補助金は、補助対象経費の3分の2以内とし、上限は50万円。ただし雇用を増加させる取り組みについては上限100万円。

・募集締切  
**5月27日(火)**  
 詳しくは当商工会までお問い合わせください。  
 ☎(011)373-3333



■平成26年度通常総会のご案内■

日時：5月20日(火)午後4時から  
 場所：ウエディングプラザ入舟4階(北進町1-2-4)  
 総会終了後に出席者が一堂に会する懇親会(参加料無料)も実施いたします。  
 出欠の回答をされていない方は再度ハガキを同封いたしましたので必要事項を記入の上ご返送願います。  
 なお、欠席される方は委任状の提出もお願いします。

■建設業経営基盤強化等補助金新分野進出等事業化計画募集

道では、新分野進出の検討及び準備のために行う事前調査等ならびに新製品や新サービスの研究開発、販路開拓、人材育成に向けた取組に要する経費を助成します。  
 (補助対象経費の2分の1以内、限度額300万円、予算の範囲内で定める額)  
 ※本事業は「新分野進出等事業化計画」を募集し、その中から優秀な計画を認定して、実施に要する経費の一部を助成することとなります。



詳細は「新分野進出等事業化計画募集要領」をご覧ください。  
 URL:<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/kn/ksk/ksgs/index.htm>

◇協会けんぽの保険料率についてのお知らせ◇

平成26年2月18日に厚生労働大臣の認可を受け、平成26年度の保険料率を決定いたしました。  
 昨年、健康保険法などが改正されたことを踏まえ、準備金を取り崩すなどにより平成26年度も引き続き健康保険料率を据え置くことといたしました(全国平均10%・北海道支部10.12%)  
 一方で、介護保険料については、介護給付費が年々増加していることなどに伴って協会けんぽが納付しなければならない介護納付金も増加しており、据え置いた場合は700億円を超える赤字が見込まれることから、引上げをお願いせざるを得なくなりました。  
 厳しい経済状況のなかではありますが、加入者・事業主の皆さまには、このようなご負担につきまして、何とぞご理解いただきますようお願い申し上げます。

～雇用保険の制度改正に係るお知らせ～

◆育児休業給付金の支給率が引き上げられました◆  
 平成26年4月1日以降に開始する育児休業から、育児休業の初日から180日目までの給付率が67%(従来は50%)に引き上げられました。  
 ※育児休業給付金の支給を受けるには一定の要件があります。



◆就業促進定着手当が創設されました◆  
 雇用保険の再就職手当の支給を受けた方で、再就職先に6か月以上雇用され、再就職先での6か月間の賃金が離職前の賃金よりも低い場合に、低下した賃金の6か月分(上限額があります。)を支給する制度です。  
 ※平成26年4月1日以降に再就職することなど一定の要件があります。



詳しくは最寄りのハローワークにお問い合わせください。

北海道支部保険料率

40歳以上65歳未満の加入者ご本人(被保険者)さま  
**11.84%**  
健康保険料率：10.12% (据え置き) ※  
 介護保険料率：1.72% (0.17%引き上げ)

左記以外の加入者ご本人(被保険者)さま  
**10.12%**  
健康保険料率：10.12% (据え置き) ※

(※) 内訳 基本保険料率：6.05% (平成25年度：5.97%) 特定保険料率：4.07% (平成25年度：4.15%)

平成26年3月分(4月納付分)より適用となります